

高齢者福祉・介護保険サービスに関するアンケート調査の実施について

1 調査の目的

令和9年度から令和11年度までの3年間を計画期間とする「第10期各務原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」策定の基礎資料とするため、①一般高齢者、②居宅要支援・要介護認定者、③介護保険サービス事業者、④居宅介護支援専門員を対象にアンケート調査を行います。

(1) 一般高齢者

要支援・要介護と認定されていない65歳以上の高齢者を対象に、介護予防をはじめとした健康に関するニーズや生きがいづくりに関する実態等を把握することを目的としています。

(2) 居宅要支援・要介護認定者

居宅の要支援・要介護認定者を対象に、介護保険サービスの利用状況、満足度、利用希望等を把握するとともに、ケアプランや介護保険制度に対する意向等を把握し、介護保険サービスの充実と公平・公正な介護保険制度の運営に向けた基礎資料づくりを目的としています。

(3) 介護保険サービス事業者

市内で介護保険サービスを提供する事業者（代表者）を対象に、サービス事業提供に関する現状を把握するとともに、人材確保や利用者の状況など、経営課題を明らかにすることを目的としています。

(4) 居宅介護支援専門員

居宅介護支援専門員を対象に、介護保険サービス利用者とサービス提供事業者等の間に潜在している意見や要望を把握し、問題点を明確にすることを目的としています。

2 調査の実施概要

各調査の実施概要は以下に示す通り。

図表 調査の実施概要 1

調査種別	(1) 一般高齢者（介護予防・日常生活圏域二 ーズ調査）	(2) 居宅要支援・ 要介護認定者	(3) 介護保険サービス 事業者	(4) 居宅介護支援専門員 （ケアマネジャー）
対象者	一般高齢者 （要支援2以下）	居宅要支援・ 要介護認定者	介護保険サービス事 業所を運営する者	居宅介護支援専門員 （ケアマネジャー）
調査方法	郵送	郵送	郵送	郵送
配布数 （前回）	2,000 票 （2,000 票）	600 票 （600 票）	300 票 （300 票）	100 票 （100 票）
回収数 （前回）	— （1,387 票）	— （342 票）	— （129 票）	— （16 票）
回収率 （前回）	— （69.4%）	— （57.0%）	— （64.5%）	— （79.0%）
配布時期	令和8年1月	令和8年1月	令和8年1月	令和8年1月

なお、在宅介護実態調査は既に配布・回収を開始している。本調査の実施概要は以下に示す通り。

図表 調査の実施概要 2

調査種別	(5) 在宅介護実態調査
対象者	在宅で生活している要支援・要介護認定を受けている高齢者
配布数	1,000 票

3 調査のポイント

(1) 一般高齢者（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

本調査は、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を基本として設問を設定する。要介護状態になるリスクの発生状況や各種リスクに与える日常生活の状況を把握し、地域の課題を特定するため実施する。（★は国が示す設問以外で各務原市が独自に設定する設問を示す。）

図表 主な設問項目（一般高齢者）

項目	主な設問案	備考
① 回答者について	・記入者	調査対象者を把握します。
② 本人について	・対象者の基本的な属性 等	調査対象者の属性を把握し、クロス集計に利用します。
③ 家族・生活状況について	・家族構成 ・本人の介護・介助について ・暮らし向き 等	介護・介助の必要性などを把握します。
④ からだを動かすことについて	・運動能力の把握 ・外出状況、移動について ・運転免許証の所持★ 等	日頃の生活の状況について把握します。
⑤ 食べることについて	・身体、口腔機能の状態 ・共食の有無 等	高齢者の健康状態を把握し、健康づくり・介護予防に関するニーズの把握に活用します。
⑥ 毎日の生活について	・認知機能、家事全般、行動の判断状況 ・近所付き合い★ ・スマホの利用状況★等	日頃の生活の状況について把握します。
⑦ 地域での活動について	・地域活動の参加状況・参加意向 ・社会参加活動や仕事の参加意向★ 等	地域活動への参加意向を把握します。
⑧ たすけあいについて	・周囲の人とのたすけあい ・身寄りの有無★ ・友人・知人等との交流状況 等	周囲の人との関わり方を把握します。
⑨ 健康について	・心身の健康状態 ・現在治療中の病気 等	心身の健康状態を把握します。
⑩ 認知症にかかる相談窓口の把握について	・認知症の有無、相談窓口の認知度 ・認知症に関する意識★ 等	認知症関する意識を把握し、認知症対策の検討材料にします。
⑪ 災害対策について	・災害時の避難対策★ ・災害時の家族との決めごと★ 等	災害時の状況について把握し、高齢者の避難の対策についての材料にします。
⑫ 介護予防について	・介護予防への取り組み状況・希望★ 等	介護予防事業への参加状況について把握します。
⑬ 自身の人生の最終段階における過ごし方について	・ACP・人生アルバムの認知度★ 等	在宅医療と介護の連携をスムーズにする人生会議等の認知度を把握します。
⑭ 介護保険及び高齢者福祉全般について	・市が行うサービス・制度の認知度★ ・介護保険サービスに関するニーズ★ ・重要だと思う高齢者福祉施策★ ・自由記述 等	介護保険サービスや高齢者福祉全般について把握し、施策への検討材料にします。

(2) 居宅要支援・要介護認定者

本調査は、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」を**基本に設問を設定**する。高齢者の適切な在宅生活の継続や家族介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するため実施する。(★は国が示す設問以外で各務原市が独自に設定する設問を示す。)

図表 主な設問項目（居宅要支援・要介護認定者）

項目	主な設問案	備考
① 回答者について	・記入者	調査対象者を把握します。
② 本人について	・対象者の基本的な属性 ・暮らし向き ・要支援・要介護認定への考え方★ 等	調査対象者の属性を把握し、クロス集計に利用します。
③ 病気について	・健康状態 ・通院の頻度★ 等	病気や受けているケアを把握します。
④ からだを動かすことについて	・運動能力の把握 ・外出状況、移動について ・運転免許証の所持★ 等	日頃の生活の状況について把握します。
⑤ 食べることについて	・身体、口腔機能の状態 ・共食の有無 等	高齢者の健康状態を把握し、健康づくり・介護予防に関するニーズの把握に活用します。
⑥ 毎日の生活について	・認知機能、家事全般、行動の判断状況 ・近所付き合い★ 等	日頃の生活の状況について把握します。
⑦ 地域での活動について	・地域活動の参加状況・参加意向 ・社会参加活動の参加意向★ 等	地域との関わり方について把握する。
⑧ たすけあいについて	・周囲の人とのたすけあい ・身寄りの有無★ ・友人・知人等との交流状況 等	周囲の人との関わり方を把握します。
⑨ 健康について	・心身の健康状態 等	日頃の生活の状況について把握します。
⑩ 認知症にかかる相談窓口の把握について	・認知症に関する意識★ ・認知症カフェの利用意向★ 等	認知症に関する意識を把握し、認知症対策の検討材料にします。
⑪ 災害対策について	・災害時の避難対策★ ・災害時の家族との決めごと★ 等	災害時の状況について把握し、高齢者の避難の対策についての材料にします。
⑫ 介護保険サービス全般について	・介護保険サービスの利用状況 ・サービスや制度の認知度★ ・生活支援サービスの利用状況・利用意向 ・重要だと思う高齢者福祉施策★ 等	介護保険サービスや高齢者福祉全般について把握し、施策への検討材料にします。
⑬ 自身の人生の最終段階における過ごし方について	・ACP・人生アルバムの認知度★ 等	在宅医療と介護の連携をスムーズにする人生会議等の認知度を把握します。
⑭ 介護者について	・介護者の就労状況・希望 ・主な介護者が行っている介護 ・介護で困っていること★ ・自由記述 等	介護離職の有無、在宅での介護が困難になる要因などを把握します。

(3) 介護保険サービス事業者

本調査では、市内で介護保険サービスを提供する事業者の経営課題を把握する。

図表 主な設問項目（居宅要支援・要介護認定者）

項目	主な設問案	備考
① 介護保険サービスの提供	・提供しているサービス ・今後の方針 等	各事業者のサービス提供意向を把握します。
② 個別事案への対応	・虐待に関する事案の有無 ・ACPの実施状況 ・人生アルバムの認知度 ・認知症高齢者の介護について 等	虐待事案の有無等を把握します。
③ 事業展開における取組	・事業所の需要 ・利用者への対応 ・事業展開で抱えている課題 ・人材確保・育成の取組（離職率、採用率） ・他事業所等との連携 ・新規事業に参入する際の課題 等	今後の事業展開における阻害要因等を把握します。

(4) 居宅介護支援専門員（ケアマネジャー）

本調査では、ケアマネジャーからみた高齢者を取り巻く課題、市内に不足していると思うサービス、今後の施策の方向性等を確認する。また、医療と介護の連携、包括支援センターとの連携等、地域包括ケアシステムを目指したより良い連携方法について意見を把握する。

図表 主な設問項目（居宅介護支援専門員）

項目	主な設問案	備考
① 本人について（基本属性）	・回答者の属性 ・所属する事業所について 等	調査対象者の属性を把握し、クロス集計に利用します。
② ケアプランの作成について	・ケアプラン作成件数、作成状況 ・ケアマネ業務において難しいこと ・業務における相談先 等	利用者のニーズを把握し、適切なサービスの提供につなげます。
③ ケアマネジメントの質の向上について	・研修への参加状況・希望 ・利用者やその家族等からの苦情の有無 等	ケアマネジメントの質の向上について把握します。
④ サービス担当者会議の実施状況について	・サービス担当者会議の実施頻度、参加者 等	サービス担当者会議の状況について把握します。
⑤ 地域包括支援センターについて	・連携の有無 ・期待すること 等	地域包括支援センターとの連携について把握します。
⑥ 医療との連携状況について	・連携の有無 ・連携内容 等	医療と介護の連携について把握し、施策の材料にします。
⑦ 高齢者虐待について	・虐待に関する事案の有無、相談先 ・高齢者虐待に必要な制度や仕組み 等	高齢者虐待の状況について把握し、虐待の予防につなげていく材料にします。

項目	主な設問案	備考
⑧ ヤングケアラー問題について	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー問題の認知度 ・ヤングケアラーがいる事例の有無 	ヤングケアラーの事例から実態を把握します。
⑨ 人生会議について	<ul style="list-style-type: none"> ・ACPの実施状況 ・人生アルバムの認知度 	在宅医療と介護の連携をスムーズにする人生会議の認知度を把握します。
⑩ 介護保険全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービスの課題 ・総合事業のニーズ、課題等 	介護保険へのニーズを把握します。
⑪ ケアマネジメントの質の向上について	<ul style="list-style-type: none"> ・業務以外の事項で負担を感じる場面の有無 ・本来の業務以外で対応している事例 	ケアマネのシャドウワークを把握します。
⑫ 高齢者福祉全般について	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な高齢者施策、介護予防事業 ・自由記述 	高齢者福祉について把握し、施策への検討材料にします。